

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

## 第 22 回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

第 22 回「三世代をつなぐ 駒カフェ（在校生対象）」が、2023 年 4 月 15 日（土）13 時から 15 時まで、第 1 会議室にて、対面で開催することができた。今回の「駒カフェ」は、新年度の第 1 回だったが、新中 1 生も多く参加してくれた。また、リピーターの参加者も数名いた。参加者 16 名（中 1：6 名、中 2：5 名、中 3：2 名、高 1：2 名、高 3：1 名）がいくつかのグループに分かれて、学校行事、部活動、勉強、将来、進路などについて、駒カフェのスタッフとともに会話をすることができた。参加した生徒は、いつもとは異なる人々と会話をすることで、いろいろな意見を整理して、自分はどうしたいのかを考えて、目標を設定して、チャレンジするきっかけとなれば幸いである。

### 参加者の感想

- ① 駒カフェスタッフからの声かけにより参加した。友達について、奥の深い話をさせていただいて良かったです。また来たいです。
- ② 今回駒カフェに参加して、気軽に話すことが出来る OB の方々がいることを知って、とても心強く感じました。
- ③ 学内の展示物を見て参加した。駒東のものすごいむかしに卒業した大先輩とたくさん話せ、面白い話や大事な話を聞いて、とてもためになった。



- ④ はじめて駒カフェに来ました。はじめは、何をされるかさからず、行くのをためらいました。しかし、実際来てみると、とても楽しく、30分ほど、お話をしていました。来月も来たいです！
- ⑤ おかしもおいしいし、きらくにはなせるから、たのしかった。先生の話がとても深い。面白い人や話が深い人もいていい。
- ⑥ 勝ち負けとはトップに立つことではないということを学ばせられました。勝てる時は勝つ、勝ちと負けは違うことを学べる、ということを学べてよかった。また女の子との付き合いかたを学べてよかった。ふんいきが明るくて楽しかったです。
- ⑦ 学内での配布物、駒カフェ当日のスタッフからの声かけにより、はじめて駒カフェに参加しました。最初学校での配布物で知った時はあまり興味がなかったのですが、スタッフさんからの声かけで入ってみたら、意外と楽しくて、また来てみたいと思いました。
- ⑧ 友達の紹介により参加した。楽しかったです。すぐ終わらせて帰ろうと思っていたけれど、いざ参加してみたら話が進んで時間がたつのが早く感じられました。良い経験になりました。ありがとうございました。満足です。
- ⑨ この学校のリアルな歴史にふれることができたのでよかった。アットホーム感があった。
- ⑩ 今まで駒カフェに参加したことがある。話題を沢山くれて良かった。
- ⑪ 今までに駒カフェに参加したことがある。楽しかった。話題をふってくれた。
- ⑫ 今までに駒カフェに参加したことがある。成績が低いことを相談して、いまからでも全然大丈夫だといってくれたのでとても自信がついた。



- ⑬ 駒カフェ当日のスタッフからの声かけにより参加した。将来に対する不安が無くなってスッキリした。
- ⑭ 駒カフェには数回参加している。平野先生を始めとする先生方の元気な顔が見られて幸いです。
- ⑮ 今までに駒カフェに参加したことがある。ずっと悩んでいた塾の話を聞いてよかった。今までは塾に入るか否かの二択だったけれど、身近な物に興味を示して自分で新しい道を進んでいくという考え方をきけて新たな発見をすることができた。
- ⑯ 駒カフェ当日のスタッフからの声かけにより参加した。英語の問題についてヒントを頂いて良かった。教育については自分の実地見測を元に考えたい。

### **OB スタッフの感想**

- ① 前回あたりから駒カフェの認知度が急速に高まってきているように感じました。新たな参加者に加え、リピーターの参加者も増えてきました。駒カフェは、駒東生にとって、ご両親や駒東の先生方とは異なる多様なキャリアを経験してきた駒東 OB が、駒東生の今後の進み方、等について、相互にタテ社会意識を払拭し、気軽に考え話し合える場として、定着してほしいと思います。駒カフェスタッフは、二人以上で駒東生に向き合うのが適当のように感じますが、そのためには、駒カフェスタッフの側の充実も課題になりつつあります。対応としては、同期の枠にこだわることなく、多様な駒東 OB が相互のオリジナリティーをリスペクトしあうなかで駒東生にきめ細かなサポートができることではないかと思います。そうした多様で豊かな経験を積んだ駒東 OB の間接的サポートによって、駒東生がさらに輝いてくれることを祈念します。
- ② 彼の仲間が急いで帰ってしまった高1生徒と話し始めました。具体的な内容は兎も角、私と仲のいいKとの60年前の会話を彷彿とさせました。たまたまスタッフとして、Kはここにいます。私はKに彼を押しつけました。Kの人生は私に人生のあり方を60年間展開してくれました。そして、

私とビールを飲むことを断って翌朝、5:30 発の飛行機でオーストラリアに日食の観測に出掛けてゆきました。これ以上、説明する必要はありません。この駒カフェで高1 生徒はそこそこ衝撃を受けたはずです。

- ③ 新中1 年生が複数参加してくれた。まだ、「駒カフェ」の存在をしらなかったようであるが、下校時に第1 会議室に立ち寄ってくれた。駒東でいろいろなことをやってみたいと思って入学した新入生たちの目はキラキラ輝いていて、私は参加者から、素晴らしいパワーをいただくことができた。駒東は、先輩が後輩の面倒をよく見てくれる、そして、後輩は先輩の背中を追いかけるといふ文化があるので、まずは、70 回生の中で一生付き合える友達を作ってほしい。そして、学校行事、部活動、委員会活動などで先輩と後輩の縦のつながりもできるように、いろいろなことに対して、積極的にチャレンジしてほしいと参加者に伝えた。また参加してくれるといいな。
- ④ 今日は、3 人の生徒と話をしました。一人は中1 で、友達の作り方に苦労していました。友達は、とても大事だから頑張れという事と友達を持つ事の意味について話をしました。人と人との繋がりはとても重要で、偏った物の見方から守ってくれる事、多様な物の見方を身に付け、変化への対応ができる事なども話しました。未だ少し難しかったかも知れませんが、必ず分かる時が来ますので覚えていて欲しいと思っています。2 人目は高1 で、塾へ行くかどうかと迷っていました。学校と塾で教え方、内容が異なっている為に、二兎を追えなくなり、虻蜂取らずになりそうで心配をしていました。私達の時代にはなかった悩みだと思います。話はしたものの答えは見つからないうちに時間切れになりました。人によって答えは違うと思いますが、しっかりと受け止めなければならない問題だと思いました。3 人目は高3 で、成績が思い通りに良くなれないと悩んでいました。2 人目の生徒と同じ塾への対応にも悩みがありました。今は目指す大学、学部も明確で、そこを目指してがむしゃらに頑張っている最中でした。全力で走り続けているので、少しは息の抜き方も覚えるといいと思いました。

- ⑤ 今回は16名の生徒が訪れました。駒カフェを知らない中1のグループと着いた途端にスタッフ側に座る高1の生徒とリピーターの高1の生徒と交流が始まるという今までにない展開もありました。カフェは誰でも訪れて良く、誰と話しても良い場所としてこのような交流が自然と生まれるのも良いと感じました。
- ⑥ 予想以上に多くの生徒たちが来訪してくれた。呼び込み・ジュースやお菓子の引力もあるだろうが、それ以上に「駒カフェの認知度が増した」「駒カフェは怪しいものではない」という認識が広まったからだろう。スタッフの一人が言っていたが「このところ駒カフェの雰囲気が変わってきた」と。さて私は今回中1の生徒3人組と1人中1、二人の中2と話ができた。中1は入学してまだひと月もたっていない。一様に「楽しい」「駒東でよかった」と話していたが、少し深く話をしてみると勉強とか今いる位置とかなんらかの不安があることをにおわせていた。“大丈夫みんな同じだよ” “不安をもって悩んで生きることが大事だよ！”
- ⑦ 報告書の編集で時間の読みが甘かったため、遅刻になった。塾に行くことで、学力の向上が図れるか、塾と両立できるかを、話題にしている会話に加わった。聡明でしっかりした眼差しの高1の学生さん。今回の駒カフェを通して思い出したことで、感想に代えたい。遠くに淡く霞む目標であっても、そこに繋がる道を模索しながら切り拓いて、歩み続けて欲しいと思った。授業も塾も、自分のために活用すれば良いと期待する。自分のためになると思えば、塾にも行けば良い。本を読む、工作をする、運動をする。それに、塾も加えて、どの経験を積むかの選択は、自分ですれば、悔いは残らない。授業と塾の悩みは、60年前にはどうだっただろう。確か、「Yゼミナール」などの名前が、少し広がった時期で、夏期講習に数回通ったように思う。母親は、どちらかという塾推奨派だったのかも知れないが、父親からは、「塾に行くより自分で学べ」と、教わったように思う。塾で成績を気にするより、問題の本質を追いという教育方針だったようである。昆虫を追い、深夜に星を眺める。数学や科学に魅力を感じる。疑問を疑問として持つことの大切さを、習った。先生

にも解けていない疑問は沢山あると教わったのは、数人の駒東恩師のお陰だった。塾では、「術」しか習わなかったが、少しは役に立ったのかも知れないと振り替える。大学では、疑問に直接向き合うことができた。高校生活は、その入口を見つける過程であり、峠に続く道であると実感する。

\*\*\*\*\*

○ 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。

○ 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナー  をクリックすると、駒カフェの情報を見ることができます。

### 【2023年度 第1学期の予定】

第23回 (保護者対象)	2023/5/27 (土) 13:00~15:00	第1会議室
第24回 (在校生対象)	2023/6/17 (土) 13:00~15:00	第2会議室
第25回 (在校生対象)	2023/7/15 (土) 13:00~15:00	第1会議室



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠 (駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー)

平野 勲 (駒場東邦スクールカウンセラー/前校長)

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェ  でお会いしましょう!